

#### 4 . 河川防災

最後に吉野川の防災業務についてお話しします。防災業務は非常に幅が広いものですから徳島工事事務所の河川に限ってお話し致しますと主なものには右表のようなものが有りますが、この中の幾つかについてお話しします。

- 1 . 出水時における施設管理
  - ・ 出水時特別河川巡視
  - ・ 樋門、排水機上等の操作
  - ・ ダム管理
- 2 . 排水ポンプ車の出動に関する事項
- 3 . 防災ステーションの管理
- 4 . 光ファイバー網の管理

##### 1 ) 排水ポンプ車

排水ポンプ車についてですが、平成10年から全国的に導入され、その後も順次増強されています。現在、徳島工事事務所には次表のとおり、2タイプ、3台の排水ポンプ車が配備されています。



排水ポンプ車による排水状況（訓練）

### 排水ポンプ車諸元表

型 式	排 水 能 力	排 水 ホ ン プ 口 径	車 輦	備 考
水力ホン普方式	7.5m <sup>3</sup> /m × 4台 (30m <sup>3</sup> /m in級)	200mm	4 車	25m <sup>3</sup> -ルを約14分で排水する。
水中モーターホン普方式	30m <sup>3</sup> /m × 2台 (60m <sup>3</sup> /m in級)	400mm	8 車	25m <sup>3</sup> -ルを約7分で排水する。
水中モーターホン普方式	30m <sup>3</sup> /m × 5台 (150m <sup>3</sup> /m in級)	400mm	11 車	25m <sup>3</sup> -ルを約3分で排水する。

25m<sup>3</sup>プールは、約400m<sup>3</sup>(400,000リットル)の水量

排水ポンプ車は堤内側に貯まった水を河川に排水するもので一言で言いますと消防車のようなものです。違いは概ね以下のようなところ です。

水タンクを持たない。

地域の排水を行うために吸い込み用の大きなポンプを持っている。

太いホースで排水する。

つまり、動く排水機場なのです。配備されたのは平成10年4月でその年の6月に阿南市の桑野川に出動し、9月には高知県の国分川に出動しました。記憶に新しいところでは昨年 の名古屋水害にも出動し活躍しました。勿論、本当は活躍の場がない方が良いでしょうが一旦事が起こればそんな事も言っていられません。今までは堤防越水とか堤防決壊が起これば越水、決壊箇所の修復を行い被害の増大を防ぐだけでしたが、排水ポンプ車の導入により、被災者の方にとって一番の問題である貯まった水をより早く排水する事が可能になりました。ポンプ車の出動は休日、夜間を問わず、原則、全国何処へでも何時でも出動するわけですから、それに備えて毎年、出水期前に操作訓練を行っています。

## 2) 石井防災ステーション

防災ステーションの主な目的としては以下の様な事があげられます。

### 重大災害時の現地対策拠点

- ・被災現場の情報収集並びに指示
- ・水防団並びに他事務所等からの応援者の待機場所
- ・災害復旧資材の備蓄場所

### 平常時

- ・地域の憩いの場
- ・災害関連講習会等の会議場所

石井町の防災ステーションは国土交通省と石井町が費用を出し合って造った施設です。そのため、平常時は町内の人 がゲートボールをしたり料理の講習会を開いたりしています。これが災害時になれば調理室は炊き出しのための調理場となり、広い和室は水防団等の待機場所となります。また、平常時にゲートボールを楽しんでいたグラウンドは災害対策車等の待機場所になったり、水防資材の供給場所となります。